

# Janis 株主通信

## 第90期 Business Report

2023年4月1日~2024年3月31日

### Contents

決算ハイライト	1
トップメッセージ	2
第7次中期経営計画	3
SDGsへの取り組み	4
2024年9月発売の新商品	5
決算の概要	7
会社概要	9
株式情報	10

ジャニス工業株式会社

証券コード:5342

Financial Highlight  
決算ハイライト

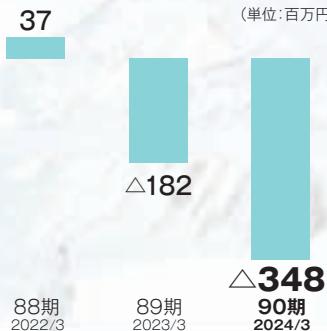
売上高

(単位:百万円)



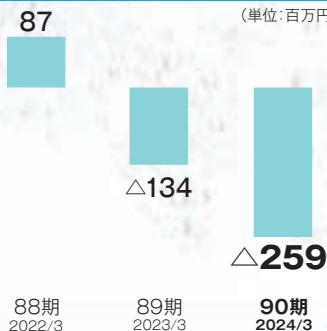
営業利益

(単位:百万円)



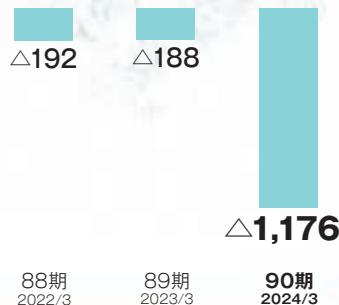
経常利益

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



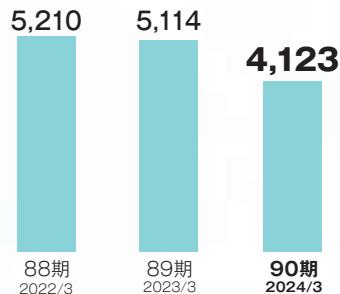
1株当たり当期純利益

(単位:円)



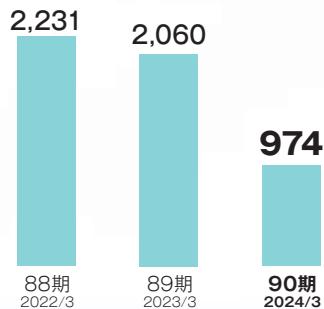
総資産

(単位:百万円)



純資産

(単位:百万円)



## トップメッセージ



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに第90期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月

代表取締役社長 富本 和伸

## 事業の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが2023年5月に5類感染症へ移行したことをはじめ、経済・社会活動の正常化が進み、設備投資・個人消費に持ち直しが見られる一方で、各国の金利政策による円安進行、雇用環境改善による人件費上昇やエネルギー価格高騰などに伴い、さらに物価が上昇すると予想されます。また、中国の不動産景気減速、マイナス金利解除による金融市場の変動影響や物流2024年問題への対策など景気の先行きについては依然として予断を許さない状況が続いております。

当社関連業界におきましては、住宅ローン金利、建設資材価格や人件費の上昇などに伴い、住宅販売価格は上昇傾向にあります。消費マインド低下が懸念される中、新設住宅着工指数は前年同期と比較すると、弱含みで推移しております。また、2024年4月から開始される残業時間抑制の対応や人手不足による工期の長期化も含め、先行きは不透明な状況が続くと予想されます。

こうした状況の中ではありますが、各社価格改定

前の流通在庫の停滞は解消し、2024年に入っては受注が回復したものの、売上高につきましては前年と比較し、6.6%減少しました。また、生産性向上やエネルギー使用量削減による製造原価低減を図ってまいりましたが、取引先からの引き続きの価格改定要請、売上高の減少に伴い、原価高騰分を吸収するには至りませんでした。

その結果、当連結会計年度の売上高は4,369百万円(前年同期比306百万円減少)、営業損失は348百万円(前年同期は営業損失182百万円)、経常損失は259百万円(前年同期は経常損失134百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失は1,176百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失188百万円)となりました。当期純損失計上の大きな要因は、営業損益が2期連続で赤字となったため土地を含めた有形固定資産の減損損失1,069百万円を計上したためであります。赤字に陥った状況を解消すべく、事業全体の費用の見直しを含めて第7次中期経営計画に沿って構造的な抜本改革を推進してまいります。

## 第7次中期経営計画

2024年4月～2027年3月

## ■スローガン

## 100期へ向けて新たな時代への挑戦

Challenge of a new era

持続可能な社会実現に貢献できる企業へ

資材・エネルギー価格の高騰や賃上げ等による価格上昇分に対し、より一層の製造原価低減活動や一部販売価格改定を行い、お客様への高付加価値商品の提供の強化とさらなるサービスの向上を目指し、売上高の回復を図ってまいります。

ISO(品質・環境)・改善活動を通じて品質・サービス改善、収益力改善、働き方改革、地域に根ざしたエコ活動を推進して参ります。

## ■基本方針

売上確保	顧客ニーズに対応した 生産体制の 再構築	付加価値の 高い商品・ サービスの 提供	環境負荷 低減	働き方改革 推進
------	----------------------------	-------------------------------	------------	-------------

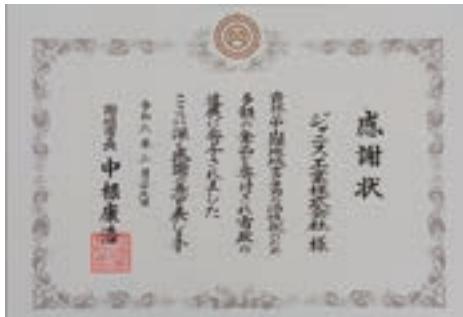
## ■業績目標

	2024年3月期		2027年3月期
売上高	4,369百万円	→	5,125百万円
営業利益	△348百万円	→	40百万円
経常利益	△259百万円	→	90百万円
当期純利益	△1,176百万円	→	55百万円
営業利益率	—	→	0.7%
配当(円/株)	0円	→	5円

## ■愛知県岡崎市 みつわ広場 トイレ等寄贈

2023年8月に岡崎市経済振興部中山間政策課様より、2010年に136年の歴史に幕を閉じた旧大雨河小学校（現みつわ広場）を都市と中山間地域を結ぶ活動拠点として、地域の皆様が活用しやすいよう、老朽化した和式トイレを洋式トイレへ改修したいとのお声をいただき、当社の商品がお役立ちできると考え、商品を寄贈いたしました。

- ・感謝状と寄附受納式 岡崎市長 中根康浩様（右）、当社社長 富本和伸（左）



- ・みつわ広場 寄贈トイレ等



## ■デザイン洗面化粧台 ラフィーネ

衛生陶器メーカーだからできる「おしゃれな化粧台」として人気のあるオンボード化粧台に新たなシリーズを追加します。

すっきりシンプルなセミフロートデザインの化粧台です。

商品名は、「洗練された」という意味の「ラフィーネ」としました。

主張しないという個性で日々の生活にとけこみます。



## ■温水洗浄便座3機種フルモデルチェンジ

洋式トイレ キュアーズやバリュークリンに組合せ販売している温水洗浄便座を  
2024年9月 3機種同時にフルモデルチェンジします。

新便座は、当社温水洗浄便座 サワレットの商標を復刻。

やさしくやわらかなフォルムの温水洗浄便座で、省エネ性能向上で家計にも環境にもやさしい基本機能充実モデルです。

復刻版のロゴ

# サワレット®

商品イメージ



● リモコン操作タイプ、脱臭機能付温水洗浄便座  
JCS-220DRN

● 本体操作タイプ温水洗浄便座  
オート脱臭付 JCS-230DNN  
脱臭機能なし JCS-230ENN

セットイメージ



キュアーズ コア



キュアーズ クーペ



バリュークリン 陶器タンク



バリュークリン 樹脂タンク

## 決算の概要

## 連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



## 財政状況について

## 流動資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、56百万円減少し2,475百万円となりました。主な内訳は、製品の減少179百万円と現金及び預金の増加113百万円によるものです。

## 固定資産

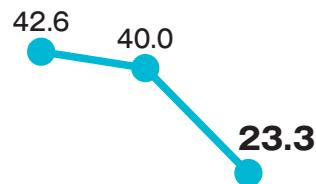
固定資産は、前連結会計年度末に比べて、933百万円減少し1,648百万円となりました。主な内訳は、有形固定資産の減少1,050百万円によるものです。

## 純資産

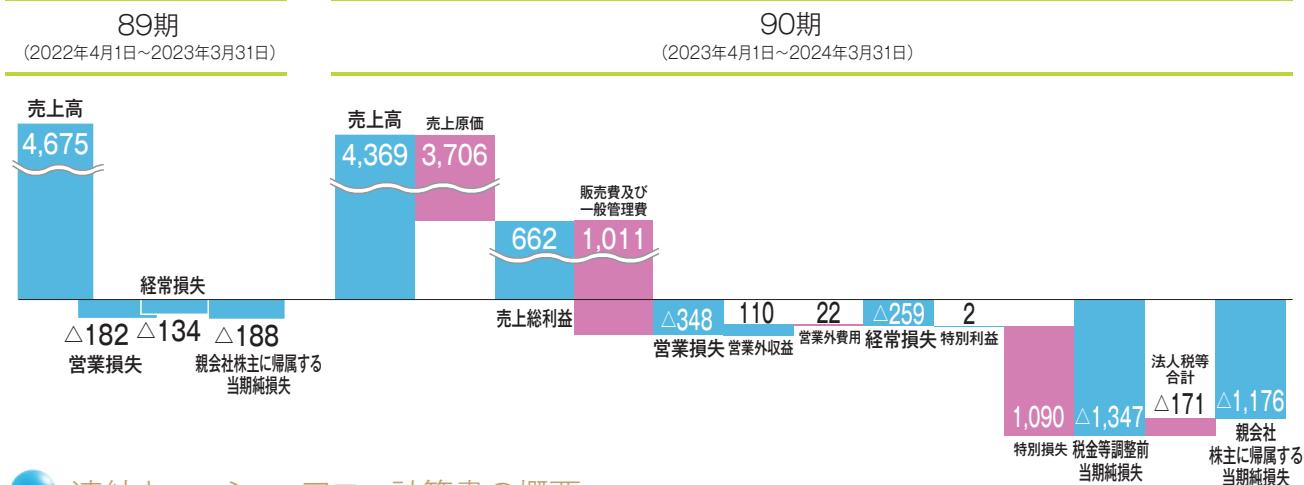
純資産は、前連結会計年度末に比べて、1,085百万円減少し974百万円となりました。主な内訳は、利益剰余金の減少769百万円と土地再評価差額金の減少406百万円であり、自己資本比率は23.3%となりました。

## 自己資本比率の推移

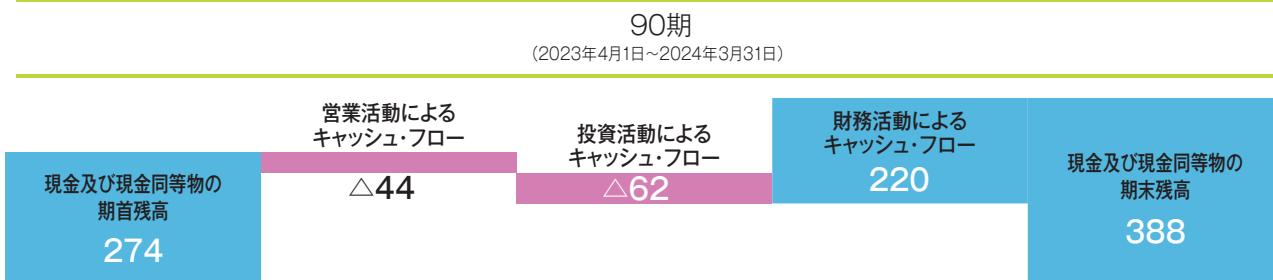
(単位:%)

88期  
2022/389期  
2023/390期  
2024/3

## 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



### 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における営業活動による資金の減少は、44百万円(前連結会計年度は60百万円の減少)となりました。主な内訳は、税金等調整前当期純損失1,347百万円、仕入債務の減少97百万円による資金の減少と減損損失1,069百万円、棚卸資産の増加186百万円、減価償却費168百万円による資金の増加によるものであります。

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における財務活動による資金の増加は、220百万円(前連結会計年度は218百万円の増加)となりました。主な内訳は、長期借入れによる収入250百万円、短期借入金金の増加100百万円による資金の増加と長期借入金金の返済による支出127百万円の資金の減少によるものであります。

## 当社の概要

商号	ジャニス工業株式会社
設立	1935年5月6日
資本金	1,000百万円
本社	〒479-8577 愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地
電話	TEL(0569)35-3150(代表)
事業内容	衛生設備機器の製造販売
会計監査人	栄監査法人

## 役員

代表取締役社長	冨本 和伸
常務取締役	宇野 正敏
取締役	蟹江 直樹
取締役	堀 健亮
監査等委員	水野 修
監査等委員(社外)	森田 雅也
監査等委員(社外)	水野 吉博

## 事業所・工場

<p><b>本社</b></p> <p>営業本部 本社工場 本社化成工場 大野工場</p>	<p>● <b>本社</b></p> <p>〒479-8577 愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地</p>
<p><b>東北営業所</b></p>	<p>● <b>営業本部</b></p> <p>〒479-8577 愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地</p>
<p><b>東日本支店</b></p>	<p>● <b>東日本支店</b></p> <p>〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-20 VORT西早稲田2F</p>
<p>(株)ファインテック高橋</p>	<p>● <b>西日本支店</b></p> <p>〒577-0045 大阪府東大阪市西堤本通東1丁目1番1号 東大阪大発ビルディング</p>
<p><b>西日本支店</b></p>	<p>● <b>東北営業所</b></p> <p>〒981-3121 宮城県仙台市泉区上谷刈1-1-25 リバーパーク上谷刈101</p>
<p><b>九州営業所</b></p>	<p>● <b>九州営業所</b></p> <p>〒816-0912 福岡県大野城市御笠川6-3-9 スカイフィールドV番館1F1号室</p>
	<p>● <b>本社工場</b></p> <p>〒479-8577 愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地</p>
	<p>● <b>本社化成工場</b></p> <p>〒479-0815 愛知県常滑市唐崎町2丁目70番地</p>
	<p>● <b>大野工場</b></p> <p>〒479-0866 愛知県常滑市大野町2丁目18番地</p>
	<p>● (株)ファインテック高橋</p> <p>〒270-2214 千葉県松戸市松飛台字中原286番地38</p>

## 株式の状況

発行可能株式総数	14,600,000株
発行済株式の総数(自己株式132,245株を含む)	3,833,543株
株主数	772名
単元株式数	100株

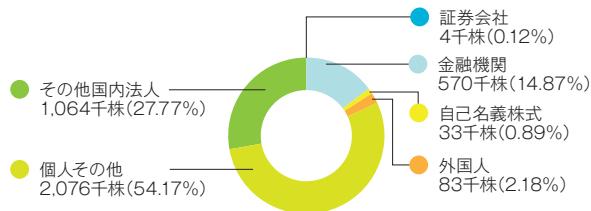
## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
タカラスタンダード株式会社	621	16.3
ジャニス工業取引先持株会	507	13.3
株式会社三菱UFJ銀行	182	4.7
株式会社LIXIL	180	4.7
阪田和弘	134	3.5
株式会社三井住友銀行	117	3.0
伊奈輝三	115	3.0
山川芳範	101	2.6
三井住友信託銀行株式会社	100	2.6
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	98	2.5

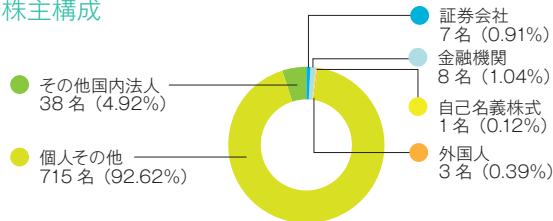
(注) 1. 当社は、自己株式33,645株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。  
 なお、自己株式33,645株には、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式98,600株を含んでおりません。  
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 株主の分布

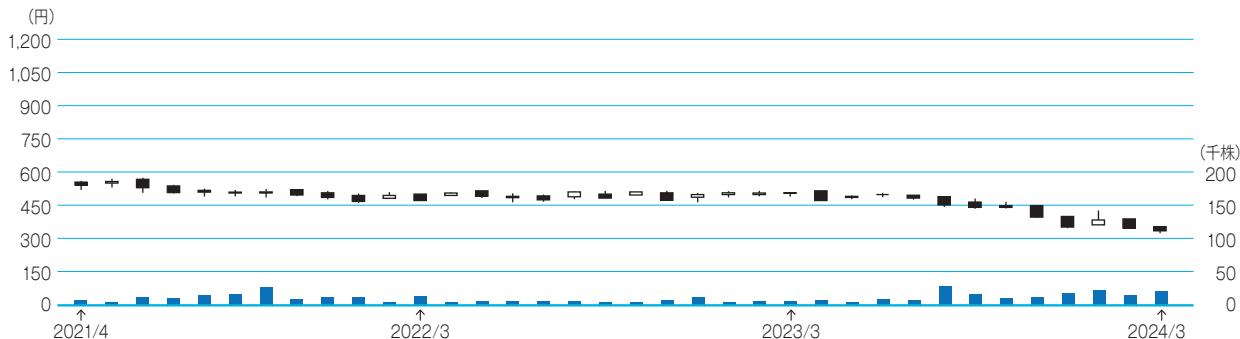
### 所有者別株式分布



### 株主構成



## 株価・出来高の推移



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	毎年3月31日(そのほか必要な場合は、あらかじめ公告いたします。)
定時株主総会	6月中
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
同 じ 照 会 先 (郵便物送付先電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
同 取 次 窓 口	三井住友信託銀行株式会社 全国本支店
公告掲載方法	当社ホームページ( <a href="https://www.janis-kogyo.co.jp/">https://www.janis-kogyo.co.jp/</a> )に掲載 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載

住所変更、单元未満株式の買取・買増等のお申出先について株主様のお取引証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である  
三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



ジャニス工業株式会社  
愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地

